

門真南駅周辺地区まちづくり基本構想（案）（概要版）

基本構想の目的

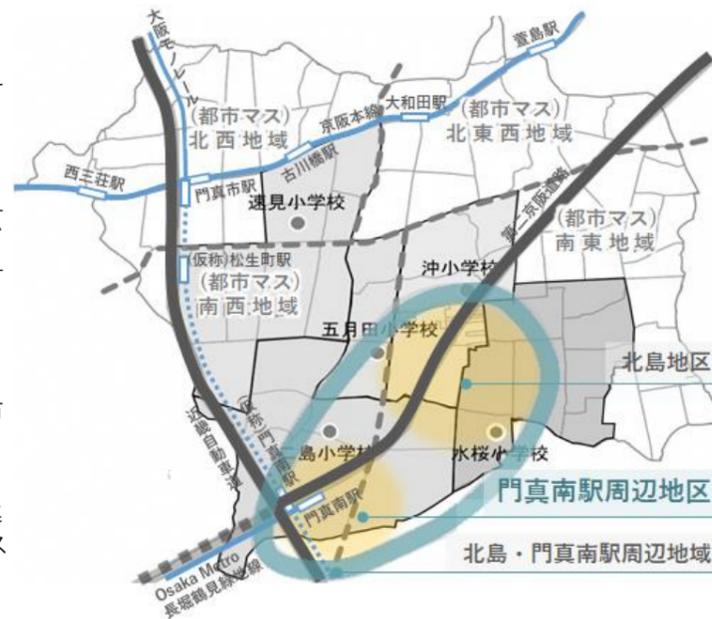
市南部に位置する北島・門真南駅周辺地域は、古くは田畑が広がる農村地帯で、現在は住宅を主とした一般市街地と工場地、農地が混在する生活と産業の場となっています。

門真南駅周辺地区（以下、本地区）では、大阪モノレールの延伸による新駅設置を契機に、本市の南の玄関口として、さらなるまちの魅力を高めるため、スポーツ施設等の運用面における課題解決や市有地の有効活用など、エリア再編に係る検討が求められています。

また、地域内には門真市民プラザ、大阪府立門真スポーツセンター、門真市立青少年運動広場及び門真市立テニスコート等をはじめとした市民の交流やレクリエーションの場となる公共施設も点在しています。

一方、北島周辺では、門真市南東地域まちづくり基本構想（2023）に基づき、土地区画整理事業によるスポーツ施設や産業、公園機能等の配置方針が示され、まちづくりの動きが加速しています。

以上を踏まえ、本構想では、北島・門真南駅周辺地域のスポーツ施設等の機能の在り方や機能配置の方向性等を整理した上で、2拠点が連携することで生み出される効果を最大限活用したまちづくりを目指し、本地区のまちの現状・課題を踏まえた将来像や具体的なアクションや、まちづくりの軸となる考え方、新たな機能導入・住宅の在り方等を検討することを目的とします。



2拠点間連携について

北島	
大規模用地を活用した都市公園・運動施設の整備をはじめとする都市機能の再編	
<ul style="list-style-type: none"> ●地理的な背景 北島は門真市域の中心部に位置し、すべての門真市民が利用するスポーツ施設の集積地として、適切な立地 	<ul style="list-style-type: none"> ●歴史的な背景 北島にはかつて市民グラウンドが存在し、スポーツを通じた市民の交流の場としての歴史も有する
<ul style="list-style-type: none"> ●門真市域の中心部という立地を活かし、スポーツ施設や都市公園・広場を核とした、エリア内外から多様な人々が集まる新たな交流拠点を整備 ●防災機能やこどもがのびのびと遊べる機能を有する公園を整備し、防災性の向上を含めた、子育て世帯の定住促進につながる良質な住環境を形成 ●導入が検討されている民間のスポーツ関連施設と連携し、相互利用を促すことで賑わいや交流の相乗効果を創出 	<ul style="list-style-type: none"> ●物理的な移転可能性 再編対象のスポーツ施設（約3.5ha）の受け皿となり得る規模の市有地（市宮門真住宅建替え余地約6.4ha）が存在 ●周辺計画との整合性 土地区画整理事業で、スポーツ関連施設の配置や、市有地へのスポーツ機能の導入も検討

門真南駅周辺
公共施設の機能の在り方等を検討し、新たな都市機能を誘致
<ul style="list-style-type: none"> ●鉄道駅に近接した立地を生かし、子育て世帯を中心とした、定住促進のための新たな居住機能を導入 ●子育て世帯が快適に安心して暮らせる住環境を創出し、防災・交流・健康など多様な機能を持つ、子どもや子育て世帯のための公園を整備 ●門真南らしく、自然を活かし、コミュニティ形成に寄与するような機能を導入

まちづくりと連動した公共施設の機能再編の検討

北島エリアでは、土地区画整理事業が予定されており、行政機能や運動施設を集積することで利便性の向上が期待できるため、本地区では門真市立青少年運動広場及び門真市立テニスコートの公共施設の機能の在り方を検討し、門真市浄化センター跡地を含む市有地等の有効活用によるまちづくりが求められます。

今後機能の在り方検討が必要となる施設

- 門真市立青少年運動広場
- 門真市立テニスコート
- 門真市浄化センター跡地

門真南駅周辺地区の現状と課題

本地区は、大阪モノレール・（仮称）門真南駅の開業に伴い、駅周辺の環境が大きく変化することが予想されます。この新駅整備のインパクトを最大限に活用し、市南部の玄関口として、さらなるまちの魅力を高めるため、公共施設の運用面における課題解決や市有地の有効活用など、エリア再編に係る検討を行い、にぎわい創出を図るまちづくりが求められます。

本構想においては、検討対象地となる本地区の現状・課題を整理し、人々の多様なアクティビティを誘発するまちづくりにつなげるための将来像や具体的な取組について検討します。

エリアの現状（ポテンシャル）	エリアの課題
<ul style="list-style-type: none"> ■ アクセスの良さ・南の玄関口 ■ 大阪モノレール延伸による新駅設置 ■ 複数の市有地の存在 ■ 東和薬品RACTABドームの立地 	<ul style="list-style-type: none"> ■ にぎわいや子どもの活動の場の創出につながる北島地域との連携（機能面、交通面） ■ 駅前のにぎわい創出と定住促進 ■ 都市機能の集積に向けた土地利用再編 ■ 門真市立テニスコートの大規模修繕と門真市立青少年運動広場の安全性の向上 ■ 門真市浄化センター跡地の利活用

まちづくりコンセプト

市南部の玄関口として魅力あるまちづくりを進めるには、駅前の活性化やみどり豊かな景観形成、子育て世帯に選ばれる住環境の整備、子育て支援、公民連携による持続可能な運営体制の構築といった視点が重要です。これらの取組みが、市の目指す「子育て世帯に選ばれるまち」の実現につながることから、本地区では、将来像を「子どもが居心地よい 駅まち・門真南」として、以下のまちづくり方針を位置付け、その方針に沿ったまちづくりの取組みを推進していきます。

将来像 「子どもが居心地よい 駅まち・門真南」
～安心して育ち、地域に誇りをもてるまちづくり～

- まちづくり方針
1. 地域の賑わいと交流を育む 駅前づくり
<キーワード：賑わい・交流>
 2. みどりあふれる快適な 地域づくり
<キーワード：みどり・景観>
 3. 多彩な魅力が調和する まち並みづくり
<キーワード：住まい・安全>

ゾーニング

駅前広場ゾーンイメージ

Osaka Metro門真南駅と大阪モノレール新駅は市南部の玄関口であり、それらをつなぐ広場ゾーンは、賑わいを生む駅まちの顔となる

みどり溢れる快適な歩行空間で子どもも安心して歩くことができる。

芝生緑地をもった公園のような駅前広場で、イベント等が実施される。

賑わい居住複合ゾーンイメージ

駅に隣接し利便性が高い立地にある賑わい居住複合ゾーンは、多くの市民が日常利用する賑わい機能や居住機能により、地域の賑わい拠点となる

生活利便施設等が並び、日常的に人が集まる。

子どもや家族が楽しく買い物しながら日常を過ごすことができる。

公園ゾーンイメージ

まちの骨格となる主導線に面しており、近隣住民のアクセスも良好な公園ゾーンは、みどり豊かで、子どもたちが安心して遊べる場所となる

地域が運営にも持続的に関わることで、地域に親しまれて賑わう。

子どもたちが、遊びを通して気づき、楽しみながら成長できる場所が生まれている。

農園ゾーンイメージ

居住ゾーンや公園ゾーンに隣接し、まちなかにとって貴重な農園ゾーンは、集合住宅や公園と一体となり、子どもの学びと地域コミュニティの拠点となる

ガーデン等も字びの場とし、地域で子どもも育てる取組みを進めている。

地域の農園として、イベント等も通じて地域の人々が交流している。

居住ゾーンイメージ

幹線道路から離れ、公園や農園・幼稚園に隣接した子どもの居場所が充実した居住ゾーンは、子育て世帯の豊かな住環境を形成する

シェア農園や共有庭などで住民同士が自然に交流が生まれている。

集合住宅の中心に広場があり、多世代が自由に交流している。